

## 聖母マリアの被昇天

### 「司祭は「神の代わりに立つ人、神のあらゆる力を身にまとった人」

皆さん、今日は、聖母マリアの被昇天を祝います。そして8月15日は私の叙階記念日です。だから今日私自身、司祭叙階12周年を迎えたことを主に感謝したいと思います。

まず、皆さんに心の底から感謝したいと思います。この祝福された日に私が主に感謝の気持ちを捧げるためには、皆さんの信仰、友情の支え、キリスト教基づく熱情が必要だからです。

実際、私一人では、悲惨さとただの罪人です。私一人では、神の前に自分の姿を示すことが出来ません。神が私を司祭職に呼んでくださったこと、そして私の人生の中で神が私に働きかけてくださったことなど数え切れないほどの奇跡に対して、計り知れないほどの感謝の気持ちを表すこともできない勇気のない人間なのです。神は選択において驚くべきものがあります。神の寛大さと、私たち一人一人への愛において、神は素晴らしく、驚くべき方です。

私が司祭になれたのは、両親のおかげでもあります。また、親戚、友達、そして私が所属している *PIME*（ミラノ外国宣教会のおかげでもあります）。

さて司祭は、この世に存在する最も貴重で想像を絶する宝です。聖ヨハネ・マリア・ヴィアンニーはこのことを深く確信していました。彼はこう言いました。「もし私たちに信仰があれば、ガラスの向こうの光を見るように、水に混じったワインを見るように、司祭の中に隠された神を見ることができるようでしょう。司祭はなんと偉大なのでしょう。もし彼が本当に（このことを）理解したら、彼は死んでしまうでしょう。...神は彼に従い

ます。彼が2つの言葉（わたしたちのために主イエス・キリストの御からだと御血になりますように。。）

）を言うと、この声を聞いた主は天から降りてきて、小さなオステアの中に閉じこもります。司祭は「神の代わりに立つ人、神のあらゆる力を身にまとった人などです。...祭司の力を見よ! 司祭の舌が一片（いっぺん）のパンを神にするのです！

皆さん、司祭のために祈ってください、私のためにも祈ってください、なぜなら私たちも時々、問題や危機を経験しているからです。この聖母マリアの被昇天の日で私たちは、教会とすべての司祭を、私たちの母であり、教会の母である聖母マリアの母性的な善意に委ねます。神の祝福を受けましょう。

